

# お祭りの雑学'2011 (お祭りで使われる'ことば')



## 【氏神（うじがみ）】と【氏子（うじこ）】

氏神とは、住む土地の鎮守の神。産土神（うぶすながみ）のことでこの地域では、一般に「立川諏訪神社」を指します。

氏子とは、産土神（うぶすながみ）が守ってくれる地に住む人。この地域に住む人は「立川諏訪神社」の氏子である。とも言えるかも知れません。

## 【御輿（みこし）】

「神輿」とも書くそうです。神幸（祭礼）の際、神体が乗るとされる輿（こし）のこと。

## 【御旅所（おたびしょ）】

神社の祭礼に、神輿（しんよ、みこし）が仮にとどまる場所のことを言うそうです。

柴五のお祭りでは、町内をお神輿が巡行する際の休憩場所のことを言います。

有志の方に場所を提供していただき、手を尽くしたおもてなしを頂くこともあります。

## 【神酒所（みきしょ）】

お祭りの期間中は柴五の会館に祭壇を作ります。そこで立川諏訪神社の神主さんに神事を執り行っていただくことにより、柴五の会館が神酒所となります。

## 【お捻り（おひねり）】

祝儀（しゅうぎ）のためのものでお金を紙に入れて捻ったもののことです。

町会では、御神輿の巡行などに参加してくれた子供たちに差し上げています。

## 【喜捨箱（きしゃばこ）】

喜捨（きしゃ）とは、寄付のことを言います。

町会では、お神輿の巡行の際に子供たちが寄付を入れる箱の喜捨箱（きしゃばこ）を持って歩いていますので子供たちに声をかけて喜捨（寄付）していただければ幸いです。

少額で構いませんので、宜しくお願い致します。

## 【花掛（はながけ）】

花（はな）とは、祝儀のことです。

町会では、町会主催の行事（お祭り）への寄付のことを言います。

お祭りの期間中に柴五の会館の中に受付が作られ、そこでお受けいたします。

寄付していただいた方のお名前と寄付金額を書いた紙を公園内に設置した掲示板に掛けます。それを「花掛け」と呼んでいます。

“お礼は倍返し”の習慣から掲示された寄付金額は実際の寄付金額の倍の金額にしています。



# (柴五のお祭りの運営について)

柴五町会のお祭りの運営についてご説明させていただきます。

町会の会計は、大きく「一般会計」と「特別会計」の2本立ての会計で運用されています。

「一般会計」は・・・

皆さんから町会費（月400円）としてお預かりしたもので日常の町会の業務や行事の運用などに使わせて頂いております。

例えば、「柴五だより」の発行や各専門部の活動費、会館の電気、ガス、水道費の光熱費、赤い羽根募金、各行事に必要な保険料金、等々に使わせていただいています。

お祭りの費用を「一般会計」から支出することは有りません。



「特別会計」は・・・

お祭りの準備の費用を一時的に、ここから支出します。

ただし、「特別会計」は、お祭りの準備に使用することだけが目的ではありません。そもそもは会館の畳換えや補修、災害等の緊急時の出費に備えて蓄えている特別予算ですので、何らかの方法でお祭りに支出した費用を「特別会計」に戻さなければなりません。その唯一の方法が皆様からの寄付となっています。

寄付とは、主に「花掛」と「喜捨箱」にいただいたものです。

言いかえると柴五会のお祭りは寄付のみで、抽選会、ビンゴ大会、模擬店、機材のレンタル、お祭りの間の電気代金、配線費用、食料費等々、お祭りにかかる全ての費用を賄っていると言えます。

会計報告を見ていただくと分かりますが、毎年お祭りの準備に「特別会計」のほぼ全額を支出してしまいます。

ですので、お祭りで使った費用が寄付より大きくなってしまうと、来年の特別予算は減ってしまいます。反対に使った費用より寄付が多ければ、来年の特別予算も増えることになります。

皆様のご理解とご協力のおかげで去年は数年ぶりに「寄付」が使った費用を上回りました。有難うございました。

さて、年に一度の「お祭り」ですので、できるだけ楽しく、ちょっと贅沢をして盛り上げたいのは誰もが思うことで町会の役員も例外ではありませんが、大きな赤字を出してしまえば来年の特別予算が減ってしまうこととなりますので、お祭りにもしわ寄せが行ってしまいます。本当に、なんとも悩ましいところです。

(総会資料に会計報告があります)

[http://www7b.biglobe.ne.jp/~shiba5/private/file/soukai\\_2011\\_04.pdf](http://www7b.biglobe.ne.jp/~shiba5/private/file/soukai_2011_04.pdf)

